

株式会社飯塚鉄工所が柏崎フロンティアパークで経営基盤強化

令和2（2020）年12月10日、中小企業基盤整備機構と株式会社飯塚鉄工所で土地譲渡契約が正式に締結されました。これにより、柏崎フロンティアパークの分譲・賃貸済率が89.8%となりました。

同社は昭和28（1953）年に柏崎で創業し、平成24（2012）年に柏崎フロンティアパークに進出後、真空ポンプ用スクリー加工技術を確立し、大手ポンプメーカーとの共同開発なども行いました。また、医療機器部品の製造と、この派生技術から航空機産業への進出を目指しています。

同社の主力は流体機器部品の製造のOEMで、大手ポンプ・バルブメーカーの多様化するニーズに応えるべく、土地を拡張して盤石な経営基盤を築いていきます。

流体機器部品メーカーとして、金属加工のスペシャリストとして、地域をけん引する中核企業として、さまざまな面で地域に貢献していただけると期待しています。

1 企業名

株式会社飯塚鉄工所（創立：昭和28（1953）年11月1日）

2 所在地

本社工場：柏崎市半田3丁目15-16

軽井川工場・軽井川第二工場：柏崎市軽井川931-42

安田工場：柏崎市安田3228-1

愛知営業所：愛知県名古屋市中村区名駅3丁目17-34 ナカモビル3F

3 事業内容

生産用機械器具、その他の生産用機械、同部品製造

4 譲渡区画

No.20 9,056.13 m²

No.21 4,523.87 m²

No.24 4,534.51 m²